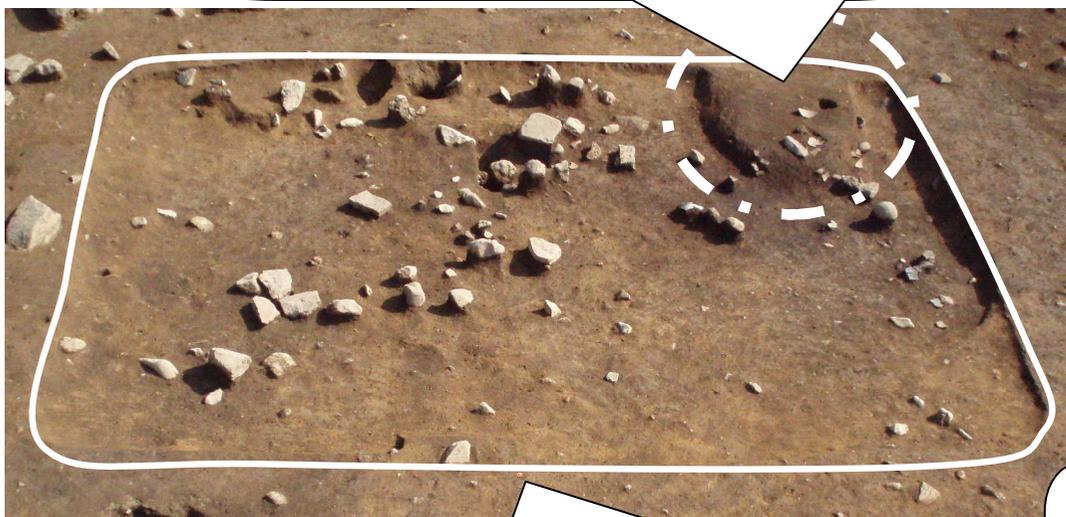


# 女夫石遺跡発掘調査速報

## No.20

これまで、縄文時代の頃の女夫石遺跡の紹介をしてきましたが、今回は平安時代の頃の女夫石遺跡の紹介です。女夫石遺跡のある穂坂には平安時代に「穂坂牧（ほさかまき）」という御牧（みまき）があったといわれています。御牧というのは朝廷に献上するための馬を飼う牧場です。そんな時代の住まいの発掘調査の様子を紹介します！！

炉ではなくてカマドが作られています。この竪穴住居のカマド周辺からは、刀子（とうす）や緑釉陶器（りょくゆうとうぎ）などの当時にしても貴重なものが発見されています。これからカマドの調査を進めていきますが、どんな状況になるのか今から楽しみです。



四角い形が特徴です。この竪穴住居は浅いですが、もっと深い竪穴住居があることも分かっています。浅いのと深いのとで一体何か機能とかが違うのでしょうか？それとも深く掘るのが面倒くさくて浅くしたのでしょうか？きっと何か意味があるのでしょうか。皆さんはどう思いますか？



そーだね！  
外見ではわからない部分にも目を向けないとね！



完全な形でなかったり、小さかったりしても、歴史を物語る貴重なものなのです。だって、もともとは完全な形だったんだし、どこか欠けているからといってその本質まで欠けているのではないのだから！外見よりもその内側を見抜かないとね！

ズリ：あれ？これまでと違って四角い竪穴住居（たてあなじゅうきょ）を掘っているみたいだよ。真ん中に炉（ろ）はないし、壁に石が張り付いているし、何だか変だな？それに出ている土器も薄いし、縄文土器とは違うみたいだな～。

マキ：平安時代の住まいみたいだよ。壁に石が張り付いているのは、竈（かまど）らしいよ。土器も平安時代のものらしいよ。それに土器じゃなくて灰釉陶器（かいゆうとうぎ）や緑釉陶器（りょくゆうとうぎ）なんかも出ているらしいよ。ついでに刀子（とうす）という鉄で出来たものもあるらしいよ。

ズリ：知らない名前がでてきたぞ、灰釉陶器や緑釉陶器ってなんだ？

マキ：緑釉陶器は緑色の釉薬（うわぐすり）のもので、あまり出てくることはなくて、高価な器だったらしいよ。

ズリ：確かに、緑色がきれいだな。そんな高価なものが出てくる女夫石遺跡の平安時代の村はどんな村だったんだろうね？

マキ：もしかしたら、穂坂地域の中でも中心的な村があったのかな～？これからの調査が楽しみだね！（つづ）



緑釉陶器の口縁部



刀子（とうす）